

指定管理評価表(ユース交流センター)

令和2年3月31日現在

施設概要	尼崎市立ユース交流センター(尼崎市若王寺2丁目18-4) 開館時間:平日9:00~21:00 土日祝9:00~17:00 休館日:月曜日(祝日は開館)、年末年始 施設設置目的:青少年の健全な育成及び福祉の増進を図る 事業内容:(1)青少年の健全な育成を図るため学習及び啓発(2)青少年の自主的な企画及び運営による活動の支援(3)青少年の交流の促進(4)青少年に対する適切な支援に寄与する人材の育成(5)青少年に係る相談及び支援(6)青少年等の活動の場の提供			
指定管理者の名称	尼崎ユースコンソーシアム			
指定期間	令和元年10月1日~令和6年3月31日			
業務概要	・尼崎市立ユース交流センターの設置及び管理に関する条例第4条各号に掲げる事業の実施に関する事 ・利用の許可、使用料の徴収等に関する業務 ・ユース交流センターの施設及び付属設備の維持管理に関する事。			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	貸室利用者数	12,428 人	— 人	— 人
	貸室稼働率	23.38 %	— %	— %
	自主事業開催数	448 回	— 回	— 回
	自主事業参加者数	4,947 人	— 人	— 人
所管課・所管課長名	子ども青少年局子ども青少年部子ども青少年課 ・ 藤川 浩志			
評価対象期間	令和元年10月1日~令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		A	10月のオープンから6か月ではあるものの、主なターゲット層である中学生に向け、HPやSNSを使った広報活動を行い、着実に利用者数を伸ばしている。利用者である中学生が考案した企画の実施や、趣向を凝らしたイベントの実施などで、中学生が施設を訪れるきっかけにもなっている。貸室の稼働率向上にも力を入れて取り組んでいる。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		A	災害時や傷病者の発生など様々なケースを想定したマニュアルを作成し、設置している。利用者が快適に利用できる環境を整えるため、チェックリストを作成し、毎日点検を実施し、職員間で情報共有している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		B	経費節減については、今年度の運営をみながら、来年度に紙や消耗品の使用などについて目標値を設定する予定。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		B	適正な会計手続きがなされており、経営状況についても問題は無い。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		B	文書等は適切に管理されている。内部評価も実施済みである。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・青少年の居場所づくり事業 ・ユースワーク推進事業 ・青少年健全育成事業 ・サテライト事業 ・青少年活動用に係る各種相談・支援、日常的な相談・支援	・部活、講座、イベントという形でいろいろな角度から中学生の興味を引き、交流を行うことができている。また、利用者が企画したイベントも随時実施し、中学生が「自ら企画・参加する」ということを実施できている。 ・2月にユースワーカー養成講座を実施し、サテライト事業を2月に実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月は中止)するなど、着実に事業を実施している。 ・スタッフが中学生と人間関係を構築していく中で、日常的な相談にのったり、青少年それぞれの成長に向けたユースワークの視点で事業が実施されている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した事業があるので、事業計画書通りには進まなかったが、着実に取り組んでいる。貸室については、利用率が低いことを課題と認識し、利用率向上のためのチラシを作成するなど、課題解決に向けた努力をしている。12月に行ったアンケート調査においても、利用者の満足度は高いことから、もっと施設自体を市民に認知してもらい、利用してもらわなければならない。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。